

解決を圖らんとする模様があつたので、所轄飯塚警察署に於ては六月十五日正午組合幹部数名招致し嚴重なる警告を發したので、組合幹部等は遂に署長に對し調停を一任することとなり、同日午後七時二瀬鐵業所に炭坑當局と會見接衝の結果次の通解決した。

炭坑當局は

傷害事件發生に對して遺憾の意を表し負傷者の醫療費一切を會社で負擔すること

3、日本石炭坑夫組合

日石では尙ほ引續き文藝戰に依り盛んにアジビラ、傳單等を用ひ、十一日には

○暴力地獄！筑豊炭田の慘狀を訴ふ！

の文書百部（別紙参照）を印刷し各友誼團體並に關係方面に

配布した。一方十日には「サンドウィッチマン」の新戰術を用ひ即ち八名でデモ隊を編成し、各自前後に横一尺五寸縦二尺五寸の馬糞紙を以て

背面には

暴力絶對反對 日本石炭坑夫組合

前面には

中央坑々夫諸君！吾等坑夫組合は暴力魔を勞務係の慘虐的暴力に無抵抗主義を採り死を期して諸君の生活ヨーゴ人間の待遇の要望に奮闘しつゝあり、サア！諸君もゲンゼンとして起ち炭坑の内外の連絡を採り目的貫徹に邁進せよ！

日本石炭坑夫組合

かゝる方法にて炭坑構所内にデモ敢行中八名全部檢束されたかくて日石に於ては本事件を單なる一炭坑の問題とせず、筑